

第43号

広島県立海田高等学校同窓会
〒736-0051 安芸郡海田町つくも町1-60
TEL・FAX (082) 822-5554
E-mail:kaita-dosokai@air.ocn.ne.jp
URL https://kaita-dousokai.com/
郵便振込口座 01390-7-19910
編集責任者 安田 嘉浩(高51期)

会 報

(故 貝原司研先生の揮毫による)

第65回 総 会 記
「生存確認。みんなどこかで
生きている。」

おもな内容

新役員紹介 P 2
母校の近況 P 3
1のつく期 寄稿文 P 4 ~ P 16
創部70年を迎えた野球部 P 13



令和6年2月25日 日曜日。第65回海田高校同窓会総会・懇親会をホテルグランヴィア広島において「9のつく期」が担当して開催しました。の総会では、新役員就任案を含む諸議案は原案どおり承認可決され閉会。つづく第2部の懇親会は4階「悠久の間」で開催しました。

懇親会の開催は4年ぶり、どのくらいの人数が集まるのかわからない状況での開催決定。会費の値上げを余儀なくされ、懇親会の開催には不安もありませんでした。今回は、同窓生同士の交流をメインにしたいと、懇親会の催し物は無しにして懐かしい同級生との近況報告と思い出話に全集中することにしました。

そんな中、39期の来賓として来て

くださったのが、高校時代はとて厳しかった体育の先生。忘れていたことが次々と思い出され、先生を囲んでの会話が花が咲きました。

懇親会の司会は49期の平岡さん、乾杯のご発声は19期の諏訪本さん、校歌のリードを応援団OBの56期川手さんをお願いしました。ありがとうございました。また、受付をお手伝いいただいた皆さま、そして総会・懇親会に参加して下さった皆さまに、心より感謝申し上げます。

同窓会懇親会の開催の仕方は今後どんどん変わっていくだろうと感じています。形は変わっても、海田高校同窓生の絆を繋いでいけるよう、尽力していきたいと思っております。

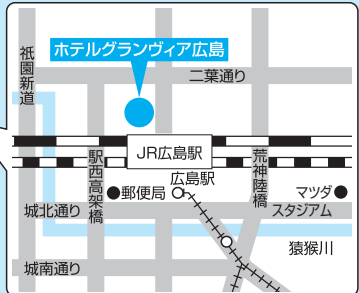
(第65回総会責任者 濱野愛子 高39期)

2025年(第66回)同窓会総会・懇親会開催のお知らせ

担当期：10・20・30・40・50・60・70期

日時 令和7年3月2日(日) 11:00~
受付開始 10:00~ 4F
場所 ホテルグランヴィア広島
会費 8,000円(会員券)

担当期以外の会員券は事務局で承ります。
お気軽にお問い合わせください。同窓生の皆さまのご来場をお待ちしております。



詳細はホームページでもお知らせします。



同窓会ホームページ

新会長の挨拶



松井 洋文 (28期)

令和6年2月の総会にてご承認を頂き、第21代同窓会会長を務めさせて頂くこととなりました。28期卒業の松井洋文です。諸先輩の皆様が数十年に渡って積み上げてこられた活動に対して、心から敬意を表しますと同時に、責任の重さを実感しているところでもあります。

近年はコロナ禍の為に休止を余儀なくされてきた同窓会

退任の挨拶



久保田幸次 (24期)

第20代の会長として本来なら3年間の任期のところ、コロナ禍の影響で4年間同窓会のお世話をさせて頂いていただきました。長いようでもあり短いようでもあった4年間で、その間、理事や本部役員、

活動でしたが、本年2月には前執行部のご努力により4年ぶりに懇親会も開催され、あらためて同窓との固い絆を再確認したところでもありません。

かけがえのない3年間で過ごした海田高校。新しい執行部も母校への熱い思いを持ったメンバーが揃いました。3万人近い世代を超えた同窓生との固い絆を次の世代へ受け渡していくことに加え、母校の発展・在校生への支援等、全員でしっかりと取り組み頑張っています。

これからもさらなるご支援とご協力を宜しくお願い致します。

事務局の皆様と共に母校と同窓会の発展の為に、微力ながら携わらせて頂いたことは大きな喜びであり、誇りとするところであります。

任期中の4年間、同窓生の方々には多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

今後とも同窓会会員の皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。同窓会が益々発展することを祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

新役員紹介

会長	松井 洋文 (28期)
副会長	藤井 弘二 (28期)
副会長	竹元 雅彦 (28期)
副会長	永山 正実 (24期)
副会長	時光 良造 (29期)
書記	馬場 良美 (28期)
書記	松金 秀明 (28期)
会計	平原智恵美 (28期)
会計	上口 裕司 (28期)
会計監査	小川 宏司 (28期)
会計監査	高橋 正人 (16期)
本部理事	城下 正文 (22期)
本部理事	富永 浩司 (42期)
相談役	勝矢 清平 (4期)
相談役	根石 義一 (5期)
相談役	後藤 尚 (8期)
相談役	久留島元生 (11期)
相談役	吉野 健治 (12期)
相談役	西井 晋 (10期)
相談役	岡田 正博 (14期)
相談役	森本 耕二 (16期)
相談役	垣下 洋 (18期)
相談役	諏訪本 光 (19期)
相談役	久保田幸次 (24期)
名譽顧問	榎山 俊宏 (14期)
顧問	桑原 雅満 (17期)
顧問	山中 雅生 (23期)
顧問	植川 雄二 (24期)
顧問	荒谷 孝弘 (29期)
事務局長	佐藤 正教 (45期)

歓迎 新入会員の皆さん

新入会員クラス理事 (◎は常任)

1組	藤原果鈴	美川陽菜	串田玲奈	坂田すばる	森高奈々	山田紳一	佐藤敦哉	伊藤永更	日藤まり	江原愛沙	清水里一	竹山一	瀧井貴
2組													
3組													
4組	◎												
5組													
6組													
7組													

理事を追加・変更された場合は必ず事務局までお知らせください。



75期 常任理事 佐藤 敦哉

海田高校で過ごした3年間は忘れられない、かけがえのない日々でした。受験で実力を発揮できなかった後悔もあります。でも、それ以上に友達との関わりや部活でみんなと協力した日々は、心に強く残り大切な宝物になりました。私たちはこれから大学も県もバラバラになってしまいうけれど、今まで海田高校で学んだことを活かして前に進んでいきたいです。そしてつらいときは原点に帰り、また一から進んでいきたいです。これからは常任理事としての役割をしっかりと果たして海田高校の伝統を忘れないように精一杯頑張っていきます。



75期 常任理事 土永 史紗

海田高校で3年間を過ごした多くのことを学びました。特に、文化祭のクラス企画の運営では1人で抱え込むのではなく、周りの人に相談し協力して物事に取り組みることの大切さをクラスメイトから教えられるました。海田高校で出会うことのできたかけがえのない仲間と活動をサポートしてください。すべての方々に感謝するとともに、同窓会活動に少しでもお力添えできるよう努力しますので、よろしくお願いたします。



海高生は今:

39

海田高校は昭和17年に設立され、創立82周年を迎えました。10余年前までは、クラス数は、各学年10クラスで編成されていましたが、少子化の影響で、現在は普通科5〜6クラスと家政科2クラスの編成となっております。また、定時制は令和3年3月に閉課程を迎えました。校門の側には定時制の記念碑「定時制の灯」が設置されています。

本校には現在、853名が在籍しています。例年、早朝から部活動や自主学習で登校する生徒もおり、放課後も教室に残って学習をしたり、体育館やグラウンドで部活動をしたりしているため、終日生徒の声が響き渡っています。家庭学習は学年数プラス2時間を目標として日々の宅習時間を自己申告させ、学習習慣の定着をはかるように取り組んでいます。計画的に週末課題が課され、小テストも実施されています。3年生は進路目標の実現に向けて放課後補習や検定学習に参加し、教室に残って学習する姿も多くなり

ます。普通科の生徒は、ほとんどが進学志望で、国公立大学や難関私立大学を目標として勉学に励んでいます。家政科の生徒は、衣食住分野のスペシャリストとして活躍するため、専門教科で学んだ成果として、保育や情報処理など各種の資格検定に力を入れていきます。特に家庭科技術検定三冠王(和服製作・洋服製作・食物調理一級の三種目合格)に挑戦するため、授業だけでなく、放課後や休日にも実習室で課題製作に励んでいます。令和6年3月の卒業生の内45名が一級三種目に合格し、8年連続三冠王日本一を達成しました。

本校には国公立大学を志望する生徒が多くいます。今年の卒業生は、国公立大学に87名が合格しました。卒業生には合格体験記を書いてもらい、冊子としてまとめています。後輩たちが先輩たちの努力から学んで、目標に向かって頑張ることができるよう、活用してもらいます。

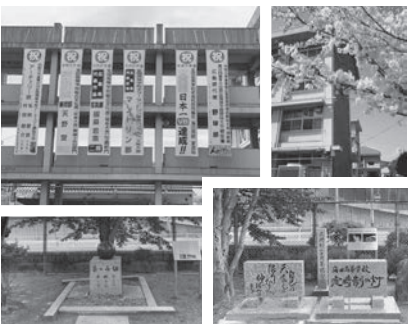
昨年度は、コロナ禍の制限も緩和され、部活動や学校行事など、以前の内容に近い形で行うことができました。体育祭でフォークダンスをしたり、文化祭で模擬店を出したりしました。2学年の修学旅行については、北海道に行きました。

近年は国際交流も活発です。本校は韓国の2校と姉妹校提携を結んでいます。コロナ禍では、オンライン交流を行っています。姉妹校のうち一校を訪問し、親交を深めました。さらに生徒会執行部とコア文化同好会、SDGs委員(各クラス2名がボランティアなどに参加)で協力をして、ユニクロ

合格者数一覧

(単位:人)

卒業生数	令和6年度入試(75期)			令和5年度入試(74期)			令和4年度入試(73期)		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
国立大学	29	15	44	23	7	30	17	15	32
公立大学	24	19	43	15	31	46	23	29	52
私立大学	459	224	683	224	162	386	301	251	552
短期大学		19	19		16	16		19	19
専修学校	1	40	41	2	35	37	1	36	37
大学校等	1		1	1		1		1	1
就職	10	10		4	4		4	4	



の「届けよう服のチカラ」プロジェクト(こども服を難民に届ける活動)に参加しました。また、ガチャガチャを活用したユニセフの募金活動なども行いました。こうした本校の取り組みが評価され、広島ユネスコ活動奨励賞を受賞しました。部活動に関しては、近年の全国大会出場クラブとして、マンドリン部、写真部、美術部、アーチェリー部などがあります。野球部も初の中国大会出場と活躍が目覚ましく、クラブ数が多いのも本校の魅力の一つと言えます。今後文武両道のもと活躍が期待されています。(佐藤正教 高45期)

NITTO 不動産の事なら、お気軽にご相談ください。

24期 東 正治 25期 馬場 義信 31期 川本 博之 58期 長谷川 真未

日東グループ 日東不動産株式会社 082-261-5011
 株式会社日東リパティ 082-261-5110
 株式会社日東プランニング 082-284-1100

広島市南区段原日出2丁目2番22号



高校1期

山の上の高校から75年

寺島 洋一

海田市駅から北に、歩いて5分。山の中腹にある校舎(元は小学校)から、海田湾が見えた。

昭和24年、公立高校が地域制学制になり、ひと揉めした。鯉城高校(元広島一中)にいたわたしたちのなかには、広島市に寄留して改称された国泰寺高校にいくもの、第一県女があつた皆実高校にいくもの、かなりいた。だが、中学3年時に上海から引揚、編入学した広島一中生のプライド意識に辟易していたわたしは、すぐ決断した。最後の一年、受験勉強しかない。瀬野から広島市内に通う往復3時間より、30分の海田市が楽だ。

はじめての男女共学。

それより、進学である。

学歴のない父は、「広島に大学が出来たのだから広大でいい」と決めつけた。当時の受験制度では、東大・京大・阪大・九大が一期校、広大は二期校だった。「京大？」

「何をやる？」と父。

古本屋で知ったトロイの遺跡を掘ったシュリーマンに熱中していた。「考古学で食っていけるか!」。つづけて「お前は頭が悪いから、理系じゃなく、法科か経済にいきな!」。じゃあ、京都大学の経済。

海田市(当時は市がついていた)高校に移って、広島一中からきた林弘君を知った。映画鑑賞「青い山脈」の帰り、「レコードがある。聞きたいか。」瀬野駅前に家があつた。受験勉強の息抜きに立ち寄るようになった。クラシック音楽に触れさせてもらった。林君から教えてもらったことのもう一つは、「学生アルバイト」。広島駅東にある卸店に連れて行ってもらい、土・日(学校は週休二日制だった)に「石鹸売り」をした。売れそうな家を探して売るんじゃない、一軒一軒、順番に売るのがいいと教えてくれた。夏休み過ぎるころには5万円ばかり貯まった。

当時の京大1回生は、宇治の元陸軍火薬廠跡に急増した分校に通った。5月の定期身体検査で、肺結核!夏休み

に帰郷して広島記念病院で人工気胸をはじめた。帰京してからは、京大病院で人工気胸を続けた。肺に太い注射針を打ち、胸壁と肺胞の間に空気を入れて、病巣を圧迫して結核菌を出さないようにするのである。

6月、朝鮮動乱。戦争放棄の憲法をつくったばかりの政府は、アメリカ占領軍の意向にそつた体制づくりに狂奔。学生は戦争反対で燃え上がった。わたしも学生運動のデモのなかにいた。2回生の4月、父が58歳で病死。学費はストップ。アルバイトは出来ない。帰郷してどうすべきかと、もともとどようすの送金をしてくれる人があらわれた。育英資金、授業料免除の手続きをとった。

戦争景気で復活した日本経済は、不景気に突入。戦後最大の就職難到来。自分の食い扶持だけは自分で確保しなけりゃならん。経済学部の掲示板にはなかった「家庭裁判所の家事・少年調査官補採用試験」を、法学部の学生が教え

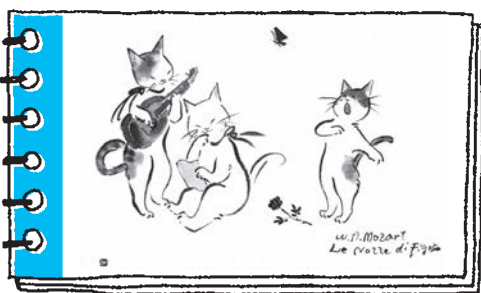
てくれた。どんな仕事かわからないまま願書を出し、10月に広島家裁から「合格通知」がきた。身体検査はなんと、広島記念病院。ホームドクターの「顔色診察」でパスした。

家庭裁判所は昭和24年に誕生した。少年調査官と家事調査官(8年後に家裁調査官に統合された国家公務員上級職相当の専門職)が新設された。体が良くなれば転職すればいい。だが、家裁調査官のいいところは、配布された事件の調査も調査報告書も自分でやる。自由に仕事ができることだった、その自由さが長続きさせた。広島家裁に20年。名古屋、和歌山、大阪、高松、東京。首席調査官となつて長崎、浦和。定年退職して、終の棲家は瀬野。

一昨年、私の「最後の本」『明治の父の日記』を出版した。中国新聞の「ひととき」で紹介された。定年退職後は総合情報誌「地平線」の編集人を務めながら「雲雀と少年/峠三吉論」を出版。現在は瀬野川流域郷土史懇話会の活動を担っていると――。

1期生の今井ユリ子さんから同期の生存者6人を紹介してもらい『明治の父の日記』を贈った。敦賀市に居住の喜多村慧子さん(第一県女出身)からの手紙――。

「私も染織家から55歳の時、ギャラリーの経営へ転職。この20年、全国にファンがいらっしゃる雨田光弘氏(みづひろ)の作品で毎年カレンダーを作り、皆様に届けています。本、ポストカード等も発売、好評です。」チェリストで画家の雨田光弘氏の『愛のあいさつ』等の絵本が3冊贈ってきた。この機会に、同窓会に寄付します。



雨田光弘作品集 “愛のあいさつII”より

高校 11 期

「海田」には

感謝しかありません

倉本 隆之

海田町は自然豊かで懐が深く、とても居心地がいい素晴らしい町です。

母校の海田高校は、のんびり者の私をそのまま送り出してくれて消耗しなかった分、80歳を過ぎても学習意欲もあり好奇心旺盛で、心身ともに元気で伸び代がまだあると私は自負しています。のんびりした性格や自分が信用する感性は、今も海田高校時代と変わっていません。

私は海田高校の近くで27歳から55年余り、「司法書士」「土地家屋調査士」の看板を掲げています。幸いにも優良な顧客にも恵まれました。事業者の成功を祈りながら裏方精神で約20名のスタッフと依頼者の信頼に応えられるよう肅々とやっています。それらを温かく見守ってくれたのは海田町であり、安芸区民や海田高校同窓生のみさんであります。「継続は力なり」と感謝しかありません。

相続登記と住所変更登記の義務化が4月から施行されました。混乱を避けるためには

遺言書作成が重要となります。それらの対応に備えて、また地域貢献と恩返しのためにも、スタッフを充実しなければと思っています。それから、私の人生が終わるまでには、支所として上八丁堀「縮景園電停前事務所」を立ち上げたいと考えています。

近々海田市駅近くに住みますので、電車に乗って今から面白くなる広島駅や広島城付近を回遊したいと思っています。何歳になっても、人生も仕事も楽しむべきと思っています。月に10回のゴルフではエージシュートが目標。好きな旅行写真に音楽、囲碁、映画鑑賞や食べ歩きにと、時間が足りません。

高校時代の出来事などを書くべきなのですが、のんびり者で影が薄い学生だったこともあり、淡い恋愛の記憶も勉強で先生に褒められた記憶もありません。寄稿依頼があるも気の利いた事柄が何も無いため、やむを得なく自分の都合の良いことばかり書いてしまいお詫び申し上げます。

回想

久留島 元生

海田高校卒業後、同窓会との関わりはありませんでした。それが1985(昭和60)年近藤先生と当時の同窓会会長が訪ねて来られ、停滞している同窓会を盛り上げたいので協力して欲しいと頼まれたのが同窓会と関わりさせてもらうきっかけでした。

同窓会会長に就任後、まずは同窓会活動に同窓生全員が関わられるようにしようと、総会運営と会報発行作業を卒期単位で担当する仕組みを構築しました。

最も感慨深く印象に残っているのは、何と言っても同窓会の会館(海翔館3階)の建設事業です。資金集めには大変苦労しましたが、同窓会会員の皆さんと地域企業のご理解とご協力により無事竣工しました。

またこの間、私は郵政省(東海田郵便局)を定年退職。その後、地元海田町の方から町会議員に推され、現在5期目を務めています。議長在任中の2014(平成26)年11月6日。天皇皇后

両陛下主催の秋の園遊会へ招待され家内共々出席しました。両陛下が私の前にお越しになった時、天皇陛下が私の胸につけた名札の「海田」の文字をご覧になられ、「これはウミタと読むのですか」とお声をかけていただきました。私は「いえ、カイタと言います。広島ご訪問の際には是非お立ち寄りください」と申し上げました。

その園遊会から1週間後、海田町役場から「議長。12月4日午前中に両陛下がお越しになられるとのことですよ」と電話連絡があり、びっくり仰天。まさか1週間前に陛下の御前で申し上げたことと関係があるのかと町長に確認すると、両陛下は原爆養護ホーム「矢野おりづる園」を訪問されるとのことでした。



海田町では御料車の通る道路、街路樹の整備などを、当日

私は町内の園児や小学生たちと並んで両陛下をお迎えしました。同窓会の会館建設と共に、これも一生忘れられない大切な思い出となりました。

公認 **海田自動車学校**

0120-396-396

海田自動車学校

免許を取ろう!!

- 所有権確保の登記
- 境界紛争予防の測量

司法書士 土地家屋調査士法人

簡裁訴訟代理業務能力認定

倉本合同事務所

海田町窪町9番14号 倉本 隆之(11期)

高校21期

我が青春時代

井田 憲和

『校門の桜の花も三度咲いて三度散り、四度目の蕾が膨らみ始めた 今日の日に』と答辞を読んで早54年。

時の流れは早いもので紅顔の美少年?は今や頭は白く目は霞み菌もそれなりの老人に成り果てた。嗚呼なんと嘆かわしい!「忘れ物・取りに戻れば又忘れ」笑っていたシニア川柳が何時しか我が身を襲う今日この頃ですが、ご同輩の皆さん、如何お過ごしでしょうか?

この度、思いがけない原稿依頼を受けネタ探しに50余年ぶりに母校を訪れましたが、なんと「浦島太郎の玉手箱」。懐かしい校舎や講堂、1階が売店で2階が生徒会室だった建物や武道館など思い出の多くが幻と化していたのです。結局、当時は懐古しつつ一抹の寂しさを胸に抱いて母校を後にしました。

思えば私の高校時代は学生運動の真っ只中。過激派がヘルメットとゲバ棒で武装し反体制闘争を繰り広げていた時

代でした。そんな中「良く見える生徒会」をスローガンに掲げ第21期生徒会を発足。そして過激な流れとは逆行して我が海田高校の伝統、そして「海高魂」を守ろうと仲間たちと必死に活動している挑戦した事が走馬灯のように懐かしく思い起こされます。

生徒会規約の改定、初めての合唱祭の開催、文化祭テーマソングも作ったなあ、叶わなかった協議会の設立に向けて学校側と折衝、世の流れに逆行して卒業式で「蛍の光」を歌いたいと嘆願したり、あれこれ頑張りました。勿論その他の高校生活も熱くて濃い思い出として深く胸に刻まれています。あの頃のエネルギーやバイタリティーは今どこに?!我ながら感心する次第です。ひと言で海田高校とは、私にとつて「青春そのもの」でした。3年間私を育ててくれてありがとう!そして恩師や同窓生の皆さん、心より感謝しております。追記:「七転び八起き」笑顔を絶やさず前を向いて歩いていけば必ず楽しい事が待っている。これが私の信念です。

矢野マン60周年記念

コンサートを終えて
野津田まら子(旧姓 小形)

2023年10月、矢野マン

ドリンアンサンブル(矢野マン)は創設60周年記念のコンサートを行いました。

最後の曲を終えてほっとして会場を見回せば、お客様の笑顔と盛大な拍手がありました。また、お見送りの際にはお客様から温かく優しい言葉をかけていただき感謝と共に達成感を得ることができました。

矢野マンは、1963(昭和38)年に矢野公民館の文化活動団体として海田高校卒業生を中心に発足しました。

私は、1970(昭和45)年の第7回定期演奏会から参加し、途中仕事や子育てで多忙となり活動を一時中断しましたが、2001(平成13)年に再開し今に至っています。2007(平成19)年、府中町社会体育施設の落成記念「くすのき音楽祭」に参加しました。矢野マンが中心となり総勢200名での演奏でした。

その演奏会に久しぶりに参加したメンバーがいました。彼女は結婚を機に矢野を離れていました。「くすのき音楽祭」への参加をクラブから勧めてみましたが、最初は多忙を理由に参加を断られました。その時彼女は病が見つかり治療の最中だったようです。その事を知人から知らされた私は再度「もう一度一緒に同じステージに立とう」と誘いました。今度は彼女も承諾してくれて「くすのき音楽祭」への参加が実現しました。クラブの私たちも1年以上練習し

てきた難しい演奏曲でしたが、彼女は自宅でのハードな一人練習の成果を見事にステージで発揮してくれました。その翌年8月、彼女は旅立ちました。

2009(平成21)年、矢野マン45周年記念コンサートを安芸区民文化センターで行いました。ステージに置かれた彼女のギターに見守られながらの演奏会でした。

純子さん、60年目の演奏会
どうだった?



矢野 マンドリンアンサンブル
結成60周年記念コンサート

『会報43号』を
応援しています。
21期 有志一同

クラス会に出席して

梶下美香子(旧姓 柚木)

前回の8組のクラス会から7年。再び開催されたのは昨年6月27日、気持ちの良い晴れの日でした。広島駅前のお店で午前11時から開始ということで30分前には到着するように出かけ会場入り。まずはクラス幹事3名に挨拶を済ませ、ワクワクしながらみんなの到着を待っていると、懐かしい元気のいい声が次々と聞こえてきて、ほぼ10年ぶりの再会にみんな満面の笑顔とおしゃべりの中クラス会は始まりました。

幹事からの挨拶の後、西日本豪雨で亡くなりになった級友を偲んで1分間の黙祷を捧げました。クラス総数54名中、17名がこの会に出席。再会できたことを喜び感謝しつつ乾杯しました。「最初のビールは美味しいものです！」食事をしながら各々の近況を語り合い、会話を存分に楽しみました。3時間という時間はあっという間に過ぎ、次回クラス会の幹事も決まり安堵。最後に記念写真を撮ってもらい閉会となりました。帰りに2年前に亡くなった級友のお

墓が近いということで、急遽任意参加でお墓参りに行くことになりました。お参りでき良かったです。

担任だった近藤登美子先生は、少し足がご不自由ということで今回のクラス会には欠席されていました。とてもお会いしたかったので残念でしたが、後日幹事から「百歳のお祝い」に近藤先生のもとに伺うと聞き、私も参加させてもらいました。お会いした先生は肌つやも良くお元気そうなお様子で、お祝いの品をお渡しして一緒に写真に納まりました。短い時間でしたが、近藤先生にお目にかかれて嬉しかったです。変わらない先生の凛とした姿に安心しました。私も先生のように元気に歳を重ねたい、それがこれからの目標です。近藤先生、いつまでもお元気でいてください。また会いに行きます。健康である今、会いたい人には会っておこうと思わせてくれたクラス会でした。



cha-net
株式会社 チャネット

専務取締役
益田 隆(18期)

広島市西区楠木町1丁目11-5
TEL.082-532-5032
URL.www.cha-net.co.jp

郵便貯金保険

広島牛田本町五郵便局

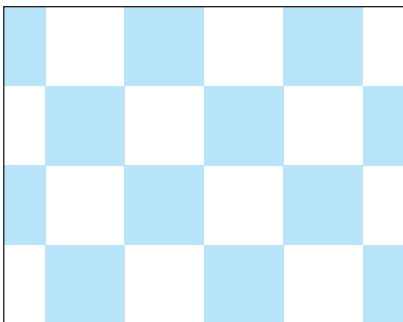
〒732-0066
広島市東区牛田本町5-3-1
TEL(082)211-0345

株式会社 丹精堂

Tanseido
corporation

山田 恵子 (21期)

〒731-4221 (旧姓 岡)
広島県安芸郡熊野町出来庭6丁目7-24
Phone:082-854-0215
FAX:082-854-3699
E-mail:info@tanseido.co.jp
http://www.tanseido.co.jp

荻野工業株式会社



- 本社工場 安芸郡熊野町平谷1-12-1
 - 呉工場 呉市郷原町4010-6
 - 東広島工場 東広島市高屋台1-12-36
- 代表取締役会長
荻野 武男 (21期)

<http://www.oginokk.co.jp>

検索

～道を、拓く。～

株式会社 横山建設

本社 | 〒731-4213 広島県安芸郡熊野町萩原8丁目7番8号
TEL 082-854-0317(代表)

生コン工場 | 〒731-4213 広島県安芸郡熊野町字深原平2673番1
TEL 082-854-8335(代表)

HP 







高校 31期

引越し16回 出会いが財産

佐々木 明弘

高校を卒業し、就職先の「日本道路公団」の新入社員研修のため新大阪駅に向かったのは昭和55年の3月下旬でした。高校の友人と親族に見送ってもらい、元気に出発しまし

たが、両親から離れ、広島からも離れ、初めての一人暮らしをするに不安を抱きながらの旅立ちでした。ただ、同じ就職先に同級生のK藤君がいたので心強く感じました。入社して43年、18歳だった少年は還暦も超えて62歳。その間の引越しは16回に及びます。京都・大阪・東京・名古屋・広島・山口などを行ったり来たり。同窓会名簿では行方不明扱いとなっていたようです。

仕事も会計・経理、用地、人事、総務、道路管理など多くの職種を経験しました。中でも、バブル最盛期に東京外環道路の23区内の用地買収に携わったことや民営化され「ネクスコ」となった際の最初の決算業務は強烈に印象に

残っています。

すべての仕事の中で、人との出会いがありました。同じ会社の人はもとより、地権者、行政、関係企業、地元住民の皆さん、多くの出会いが私を成長させてくれました。転勤を重ねる人生で、この出会いこそが私の一番の財産です。

新入社員時代の私はきつと頼りなく、生意気だったと思います。叱られたこともたくさんありました。以来、出会った人から教わり、経験を重ねながら、少しずつですが成長していったように思います。辛い時にも必ず誰かが私を助けてくれました。出会いに感謝です。

まだ、これからも様々な出会いがあると思います。今度自分が誰かの助けになればいいなと思っています。皆さん、まだまだ元気に頑張りますよ！



それは突然やって来た

數本民恵(旧姓松井)

2年前、還暦を迎えた数ヵ月後に左脳出血を発症し倒れた。救急車で病院に運ばれ、入院。最初は体が動かなくてしゃべることもできなかった。右半身麻痺と失語症、高次脳機能障害。落ち込み過ぎて、誰にも会いたくなかった。

3週間後、広島総合リハビリ病院に転院。右足に装具を付ければ少し歩けるようになり、言語機能も回復。そこま

で来るのも簡単ではなく、何度も落ち込んで泣いた。何とか一人で杖歩行できるようになり、5ヵ月後に退院。外出は車椅子。今でも一人では外出できない。声は出せるが、

体が力が入らずしつかりした声は無理。できない事が多すぎて、また落ち込む。利き手の右腕が全く動かないことが、すぐくもどかしい。高次脳機能障害もある。車の運転も、

全体の仕事も諦めた。生きていくなら何とか笑いたい、笑っていたいと思った。曲を作って、ライブハウスやイベントのステージでキーボードの弾き語りを始めたの

は2年前。38歳の時のこと。1回目の結婚で3人の子供ができ、一番下の子は小学5年生だった。その頃、家庭で笑えなくなっていた、なんとかしたいと始めたのが音楽だった。曲を作って歌うことは、心の中をさらけ出すような感じだったが、マイナスイメージも吐き出すことができた。そして笑えるようになった。

歌は、私には大切なもの。脳出血で倒れる前は、19年前に再婚した相手さんと「おたぶ」という夫婦ユニットで歌うことを続けていた。リハビリをしても、体も声も思うようにならなくて、どうしようか...と悩んだが、やっぱり笑いたいと思い、どんな形でも歌おうと決めた。おたみ&YABU「おたぶ」は、海田町で歌われている「ひまわりのうた」を作ったユニット。これからも二人で歌ってみたい。



アストラムライン安東駅より徒歩1分



今井整形外科 クリニック

院長 今井 一彦 (31期)

TEL 082-847-1341

〒731-0153 広島市安佐南区安東2丁目11-27 (第2エム・タウンビル2F)

SINCE 1892

地域と共に100有余年の信頼

さこ たに 迫谷写真館

〒736-0066 広島県安芸郡海田町中店6番12号

TEL (082)823-2234

迫谷 政彦(31期) 迫谷 武子(8期)



鉄骨・製缶工事一式
プラント工事・設計施工

株式会社 大東製作所

代表取締役 西野 光明 (31期)

〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町9-9

TEL (082) 822-2311

FAX (082) 824-2465

高校 41 期

初心を胸に♡

池田佳代子(旧姓 瀬尾)

私は現在、安佐南区に居住しています。私が海田高校に入学したのは、1987年4月、校門の桜が満開でした。不安と期待に胸を膨らませて新生活に臨んだことを今でもはつきり覚えています。

高校ではバスケット部に入学。体育館から聞こえるボールの音と、熱いパワー溢れる声に惹かれて入学しました。私の高校生活はバスケットの日々でした。厳しい練習をみんなが支え合い、声をかけ合いながら培った信頼関係。そんな仲間との練習は本当に幸せな時間で楽しかったです。

高校を卒業後、短大に進学。社会に出て行った際には、人と分かり合うことの難しさに虚無感を感じて心折れそうになった時もありました。だけど、高校生活で感じていた幸福感を頼りに、分かち合える喜びが少しでも感じられるように、より幸せな時間が過ごせるように、3児の母となつ

た今も学ばせていただいています。

そして、この春3番目の息子が高校生になり、演劇の世界に挑戦しており、生き生きと毎日を送っています。そんな我が子の姿が、私をもう一度初心にかえらせてくれます。



部活の経験が 思ってもよらない今の職業に

矢本 治

私の海田高校の1番の思い出はサッカー部活動。ここで貴重な経験をさせていただいた。それは主将として「個性的なメンバーを一つにまとめる難しさ」であった。人をまとめる才能があったから選ばれたわけではない私にとつて、40人以上のメンバーをまとめる主将任期中は本当に大変だった。

しかし、実はこの経験が僕の人生を大きく変えたのである。

就職後、ホテル業界やブライダル業界を経験する中で、年齢・キャリアを重ねるほど、組織をまとめる機会は増えていった。中でも短い時間でみんなをまとめる一つの方法として、ミーティングや会議が重要だった。それは仕事に関わらずプライベートでも同様。家族、趣味のグループ、町内会でもこの「話し合う場」は必ず存在する。

行動的な人もいれば、消極的な人もいる。コ

ミュニケーションが得意な人もいれば、苦手な人もいる。好奇心旺盛な人もいれば、同じことをコツコツする方が得意な人もいる。様々な人達と「お互いを認め、知恵を出し合うことで、今より良い未来を創造する」ことが話し合う目的である。

しかし、現実はこの話し合いの進め方次第で上手くまとまり協力もできれば、逆にバラバラになって望まない未来に向かうこともある。

つまり、ミーティングや会議のスキルを高めることで、未来の結果も大きく変わることに気づいた私は当時勤めていた社内ミーティングの司会進行役を全て請け負い、このスキルを高めるために学び、実践を続けた。

その時の経験と業績向上のおかげで、ミーティングコンサルタントという職業で起業



して14年経つ。グループ会話技術の書籍も2冊出版する機会に恵まれた。

全ては海田高校の部活動の経験が今の職業につながっている。顧問の山部先生をはじめ、私に関わっていただいた教員の方々、一緒に過ごしてくれた仲間には心から感謝している。

不動産のトータルプランナー

コスモコーポレーション(株)

COSMO CORPORATION

代表取締役社長 小島 照雄
小島 大輔 (45期)

広島市安芸区矢野西3丁目41番20号
TEL:082-889-3851 FAX:082-889-3855
E-mail:cosmo-cc@camel.plala.or.jp

『会報 43 号』を
応援しています。

甲斐野 学(31期)

セーラー服時代の私と今
平木裕子(旧姓 薦田)

いやー本当に楽しい高校生活でした。私達の高校時代はセーラー服のスカート丈長めが終わりの頃。既に校舎は古くて土足だし、教科書を落とせば最悪な気持ちになった。川の異臭や謎の真っ青超ダサレオタードでの体育とかあったけど、それすら青春のページになる程楽しかった。そうそう、当時髪につけるりボンが流行っていて正門で何本も先生に没収され(私が悪い)体育教官室に取り返しに行った。通称ダンブ先生の返り討ちにあったのも今思えば青春。

海田高校と言えば文化祭・体育祭。他校からの来場も凄かった。文化祭ではその頃ブームだった「ねるとん紅鯨団」をマネしてねるとんパーティーもどきを教室で。なぜか私は誰かと司会を任せられた後にプロ司会者となった私の司会初体験は多分これ。体育祭と言えば巨大大型パネルくじで係が当たりし絶望したけど、大勢の人が深夜まで手伝ってくれたり、おにぎり差し入れてくれたりと最高の時間と作品ができた。体育祭打ち上げは近くの海。いつの間にか潮が満ちていて焦ったのも楽しい思い出。卒業式後、今は無き矢野のモスバーガーに集まり日付が変わるまで喋り倒し、男女共に制服にメッセージを書き合った。これが高校生活最後の思い出。転勤族の人見知りで友達の輪に入るのが苦手だった私が、海高で親友ができ一緒に泣いたり笑ったりできるクラスメイトや硬式テニス部の仲間を得た。人生で初めて自由を感じた。自分を肯定できるようになり気持ちに素直に主体的に行動できるようになった。結婚して息子が二人できた。彼らには小さい頃からやりたいと思った事はどんどんチャレンジさせてきた。彼らにもかけがいのない友達や仲間ができ主体的に行動し選択できる力がついて、今東京で夢を持って自分のやりたい仕事を頑張っている。息子達が巣立ち子育てを卒業した私は今また第二の青春時代を過ごしている。30年ぶりにテニスを再開し仲間と共にチャレンジ。目指すはシニアチャンピオン!100歳まで元気にテニスができるなら最高!

老後に向けた思い出作り
土肥 志穂

2020年2月に卒業30年記念で同期会をしました。同期会の前には同窓会総会へ、41期としては初めてまとまって出席しました。私は卒業後ずっと関東在住なので、直高のことは単なる通過点という感覚でしたが、50歳を過ぎて集まってみると、どれだけ素晴らしい人たちに囲まれていたか、改めて知ることになりました。私は子どもがまだ小学生です、フリーライターとしてマスコミにも関わっていますし、趣味のフラは年々沼にハマり、2年後に大きなステージでソロを踊ることを目標に取り組んでいます。アクティブに動いているほうだと思えますが老いは否めず、きつと20年後には何かにする形でないと思える希望を失うと感じています。その時大切にしたいのは、高校の時の思い出なのではないかと気づきました。今を生きるべきなのに、過去にすぎるのは情けないような気もしましたが、そんな変なプライドみたいなものは捨てて過去も大切にしたら、



未来がとても楽しみにになりました。今は関東在住の写真の4人で、時々山へ登ったり、飲んだりしています。空手部の相棒だった切田裕子さんは、卒業後唯一連絡を取り続けた親友です。金子智也くんは2年のときに同じクラスでしたが、バスケットだった清水保夫くんは話したこともありませんでした。なんか、バスケット部って近寄りがたかったですよね(笑)登山はみんななどのおしゃべりがとても楽しく、飲み会もほっぺが筋肉痛になるぐらい笑っています。いつも「高校のときにこんなふう集まりましたかったねー」という話になります、今、それを取り戻しつつ、新しい思い出を作っています。

<p>3ねんBぐみ</p> <p>堀 文江 (旧姓・川手 20期)</p> <p>中区流川6-9(第6中村ビル2F)</p> <p>☎082-246-4788</p>	<p> 物流に奉仕する</p> <p>一般貨物運送事業</p> <p>熊野貨物運輸株式会社</p> <p>代表取締役 社長 岡田 頼和 (20期)</p> <p>広島県安芸郡坂町北新地4-5-9 TEL (082) 820-1580</p>
---	---

高 校 51 期

あの試合から25年

安田 嘉浩

1999年。旧広島市民球場で行われた「第81回夏の高校野球選手権広島大会」準々決勝、海田高校対広陵高校戦から今年で25年となる。

秋季広島県大会と春季広島県大会とともに優勝していた広陵高校は強豪の如水館高校と双璧をなし、1999年夏の選手権広島大会の優勝候補の筆頭だった。

1998年夏。新チームになって早々に広陵高校と練習試合をし、結果は0対6、0対16の連敗。相手はピンポン球のように打球が飛ぶのに対し、自分たちはまるで鉄球を打たされているような感覚で打球が飛ばず、全くと言っていいほど歯が立たなかった。1999年7月25日。あの試合当日を迎えるまでは、広陵高校に正直勝てる気はしていなかった。ところが、試合前のウォーミングアップ中、相手エースピッチャーが体調不良で先発をせず、3番手が先発するとの情報が入った。

不思議だったがその時なぜか「これは面白いことになるかもしれない」と感じた。惨敗した練習試合以降、部員全員が悔しさを忘れず、向上心を持って日々野球に取り組んだことが自信に繋がっていたと思う。

試合は初回到3点、2回にも4点を取り、序盤で7対0とリード。しかし、3回以降は追加点を取れず、毎回のように広陵高校がチャンスを作り、7対0でリードしているとはとても思えない苦しい展開が続いた。1点でも失点すれば逆転負けをしていたかもしれないといまだに思う。1塁側内野スタンドは在校生や先生、OB、保護者などでぎっしりと埋まり、そこからの応援はまるでプロ野球の声援のような迫力で、僕たちに踏ん張る力をくれた。あの試合は自分たちだけでなく、「オール海田高校」として挑んだ結果の勝利だった。

広陵高校に勝利した勢いで準決勝の如水館高校戦に臨みたかったが、3日間、雨で順延となり、雨と共に勢いも流れてしまい如水館高校には0

対8で敗戦し、高校野球生活が終わった。如水館高校はその後の決勝で高陽東高校に8対2で勝利し、3連覇を果たした。

残念ながら夢の甲子園には届かなかったが、良い仲間、良い指導者に出会うことができ、幸運な高校野球生活だった。高校では甲子園でプレーする夢は叶わなかったが、夢はまだ続いている。それは、「マスターズ甲子園」である。現在は「海田高校野球部OBチーム」としてマスターズ甲子園広島大会に出場している。現役の時に叶わなかった甲子園出場の夢を今度は幅広い世代の野球部OBで追いかけている。

体が動く限り、夢の甲子園出場に向け、白球を追い続けたいと思う。

あの日のあの時！ 海田高校ベスト4

海田	3400000	782	海	483152796
広陵	0000000	042	竹	竹安足
広	489375621	海	483152796	
鈴	竹月若	立	森演福	
川	水田	野	林山岡	
田	田本	田	内立	
本		井	井	
		井	井	



同窓会の会報号外も発行された

M 株式会社 エムテクノ

空調設備設計・施工・販売・メンテナンス

県知事許可 (般-2) 第27965号

〒734-0015 広島市南区宇品御幸2丁目14-7
TEL・FAX (082) 250-6599

KOYO 広洋工業株式会社

代表取締役社長 藤原卓実 (51期)

〒739-0262 東広島市志和町志和東3387
TEL: 082-433-5545 FAX: 082-433-5547
メール: koyo-shiwa@koyo-industry.com

QRコード: @KOYOKOUGYOU

高校61期

「高校での経験と今の自分」

マクルーリー里美(旧姓 廣安)

約18年前、海田高校のオーブンキャンパスで体験した英語の授業のことを今でも覚えている。英語のクラスを担当

されていた森川先生は、インプットよりアウトプットを重視した授業を行っており、英語は受動的な授業が多かった当時、英語をツールとして学べた森川先生の授業は子供ながらもとても珍しく感じた。

2007年に海田高校に入學し、幸運なことに担任が森川先生のクラスに入った。英語の成績が特段良かった訳ではないが、英語の授業を嫌いにならなかったのは先生の授業のおかげだと思う。しかし、高校二・三年生は日本の歴史や言語に興味があった時期だったため、大学進学も日本文学部と英語をあまり使わない学部を選んだ。それでも、英語ができるに割に心の奥で海外に対する憧れを拭えなかった自分がいた。それは森川先生の英語を会話するツールとして使う授業が忘れられなかったからだと思う。

大学では日本文学部で、海外で日本語を教えるという日本語教育を専攻した。甘い考えだと思うが、日本語教員は海外にいながら日本語を使える完璧な仕事だと思ったからだ。

5年前、海外で日本語を教えてみたいという夢を捨てきれず、3年半勤めていた日本の会社を辞め単身で渡豪した。オーストラリアは英語圏の中で、日本語を学んでいる生徒の数が一番多い国だ。現在、日本語を第二言語として、または継承言語として学ぶ子供たちに日本語を日本語または英語で教えている。海外で生活しながら日本語を教えられたらという考えが現実になっている。オーストラリアは多民族国家、国民の4割は英語が第一言語ではない。オーストラリアでは多くの人が英語を会話のツールとして使っている。

持っていけるものは。

松原 沙也加

将来どうなりたいなんて、学生のあの時一ミリも思っていなかったと思う。こんな将来になりそう、なんてことも考えたことはない。こんな将来「でも」いいや、と思うこともなかった。

大学について、会社員として働いて、結婚する、という人生の当たり前を決めたのは誰だろうか。そのレールからすると私の人生はおおよそ外れた道を歩んでいる。新卒から3年勤めた会社を25歳の時に退社。その後、起業独立。レールから外れようとしたとき、周りのみんなはそんなの無理だと言ったし、私もできるとは思ってた。ただ、けれど人生1回だし後悔するよりはと、一歩踏み出した。結局、道無き道を歩いて7年が経つ。起業なんて言葉はカッコいいが、そんな楽なものじゃない。自分で稼がないと生きていけないし、休日なんて概念は無い。誰も自分を守ってくれない。一寸先は崖。何度も挫折しかけた。けれども乗り越え、自分を誇れる人

私は今、慶應義塾大学で社会人学生をしている。なんでもう一度勉強なんてしているのか？と驚く人もいるかもしれない。大学時代で専攻したプログラミングは後にエンジニアという自分のキャリアの礎になり、アイデンティティの核となった。知識は人生の選択肢を増やす。勉強が義務のように感じていた子供の頃とは異なり、大人になると学びを得る機会は減る。どんどん狭くなってくる目の前の選択肢に気づくことができなくなる。どんな時でも後悔しない選択ができるように新しいことを学び続ける精神は重要だと思っている。

もし高校生に戻れたとしたらやっぱり必死に「学んだ」と思う。興味があることだけでもいい。人との会話からでも気づくことはたくさんある。吸収できること全部が未来の糧になる。人生に正解はないけれどもこんな人生もあるよ、今から人生を歩む人たちに道を示せる存在で在りたい。私達はきつとまだ未来に欲張りていられると思う。

印刷のことなら…

ひまわり印刷株式会社

広島県安芸郡海田町東昭和町1-5-7-5
TEL(082)824-3703 FAX(082)824-3785
E-mail:himawari-p@ec1.technowave.ne.jp

中西 しづ子 (18期)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 代理店
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

株式会社 アイオイ保険センター

代表取締役 堀内 充輝 (25期)
〒739-0025 広島県東広島市西条中央4丁目1番24号
TEL : 082-422-3235 FAX : 082-423-3575



高 校 71 期

おかげさまで

島川 智哉

夢を叶えた私は現在、広島県の県立高校で教壇に立っている。

海田高校卒業後、想像を遙かに超えた景色が広がる大学で過ごした日々は宝物になった。そこで同じ夢を追う友人たちに出会い、教員を目指す道を歩む喜びと苦労を味わった。日の丸を胸に世界の舞台で輝くアスリートたちと共に

大学生活を送る中で、彼らの競技への情熱と向上心が私を鼓舞し、夢に向かって努力し続けることができた。高校野球の未練を晴らすため、大学でも野球を継続した。最高の環境と、本気で野球に向き合う仲間やライバルがいてくれたことで、チーム・個人ともにキャリアハイの成績を残すことができた。野球選手人生をこれ以上ない最高の形で終えることができた。この4年間は人生の中でも特に充実した時期だった。

これまでの人生を振り返ると、人との出会いに非常に恵

まれていると感じる。大切な出会いや経験をさせてくれたご縁に感謝したい。

今は、キラキラと輝く青春を送る生徒たちや、真剣に野球に向き合う野球部員たちと共に、教員として、または野球の指導者として生活している。彼らが目標に向かって努力する姿に支えられ、多忙ながらも充実した毎日を送ることができている。

私が歩んだ道は遠回りだったかもしれないが、その道のりで出会った花々が人生を華やかに彩ってくれた。誰かの支えがあつてこそ、今の自分があることを忘れず、高校生たちの夢の実現を支援していきたい。私もまた、勇気と情熱を胸に教育の現場で躍動していきたい。



未知の世界へ飛び込む

向井 優香

今年4月、私は新社会人になった。一番行きたかった企業の一員として、地元から離れた地で働いている。第一志望だった企業に就職できたのは、海田高校を卒業した後、自分の知らない世界に飛び込み、様々な人と交流してきたからだと考える。

県外の大学に進学し、北海道から鹿児島まで様々な出身地の人と交流した。文理混合学部だったため、法学から環境学、経済学……広く知識を身につけた。このような学部だったため、私と同じ仕事を志す人は一人もおらず、友人や先輩になりたい姿を沢山話した。

大学入学当初は、自分と異なる価値観や考え方を受け入れることに非常に抵抗があつたが、大学生活が終わる頃には、社会人になつても様々な土地で様々な人々と交流しつづけたいとまで思えるようになった。考え方が変化してからは、知識量は明らかに増え、どの世代の会話にも入れるようになった。様々な人の考え、

様々な土地に触れたことで自分自身の「核」が出来、積極的に意見を言えるようになるかと考えた。

今後の社会人生活でも、職種を問わず全国の人と交流し続けようと考えている。多様性が重視される現代、学生時代に全国の人と関わったことは、私のかけがえのない資産となつている。

高校の同窓会等で同級生と会う機会があれば、みんなの話も沢山聞きたいと思う。

学生生活を終えて

篠藤 波瑠

3年間の高校生活、4年間の大学生活を終え、社会人になった。高校では理系を選択し、大学では工学系の学問を学んだ。現在私は、高校・大学で専攻した学問とは関わりのない仕事に就いている。

では、これまで学んできたことは無駄だったのか? そうとは思わない。

高校時代は何かに一生涯懸命情熱をそそぎ努力することを学んだ。大学時代には先を見据えて行動し、物事の精度・練度を高めることを学んだ。何が言いたいかと言うと、経

験したこと、学んできたことに無駄なことは無いということだ。一生懸命に取り組んだことは身体に染みつき、必ず自分の力になってくれ、いざという時の助けとなる。

また、学生時代には、何ものにも代えがたい大切な友人との出会いがあった。この繋がりは現在も続いていて、今でも近況を話したり、励まし合ったりしている。何かに懸命に向き合ったことで、この繋がりがはでたと感じている。社会人になつた今、これまでの全てが糧になつていて、学び成長してきたことを活かして、今後も頑張りたい。



名越 弘文先生(英語) S 54・4~H 13・3	石田 広見先生(数学) S 47・4~S 55・3	行年 和正先生(教頭) S 53・4~S 57・3	原田 高明先生(定教頭) S 60・4~H 2・3	灰谷純一郎先生(国語) S 38・4~S 44・3	県女1期 山中千鶴美(上田) R 6・3	県女1期 緑 黎子(寺川)	県女3期 塩山 淳子(野間)	高校4期 寺尾 昭	高校4期 岡部 早苗(森重)	高校4期 金子 信英	高校4期 三戸 昭子(山田)	高校6期 明田 善博	高校6期 萩屋田澄子(高原)	高校6期 榎 虎之助	高校6期 高山 純信	高校7期 井本 文雄	高校7期 山野内朝子(片桐)	R 5・12	R 5・6	R 6・6	R 6・1	R 4・8	R 5・11	R 5・3	R 5・11	R 5・3	R 6・1	R 3・8	R 4・9	R 5・4	R 5・6	R 3・1	逝去年月
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------	---------------	----------------	-----------	----------------	------------	----------------	------------	----------------	------------	------------	------------	----------------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

謹

弔

高校7期 高下 俊子(天島) R 6・1	高校9期 鶴 素直 R 5	高校9期 松井 良子(川上) R 6・1	高校10期 宗像 紀道 R 2・7	高校10期 竹廣 徹夫 R 5・2	高校10期 金子 隆明 R 5	高校13期 真田 英明 R 6・4	高校13期 美野 三恵(沢井) R 5	高校14期 石戸 清子(仲吉) R 5・11	高校14期 井上なぎさ(荻野) R 5	高校14期 後原 克實 R 6・4	高校14期 仁井 博司 R 5	高校14期 瀬尾 仲寛 R 5	高校14期 岡村 三久 R 1・8	高校16期 藤山早智子(井上) R 1・8	高校16期 片川 家宏 R 4・6	高校17期 柴崎 憲三 R 4・12	高校17期 葛谷 幹男 R 5・5	高校18期 川原 康浩 R 5・9	高校18期 為数 律子(今田) R 5・10	高校18期 藤本 吉数 R 5・12	逝去年月
-------------------------	------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	------------------------	---------------------------	------------------------	----------------------	--------------------	--------------------	----------------------	--------------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------------	-----------------------	------

訂正

「会報42号」の謹弔欄の「高校21期 高木栄子」の記載は誤りでした。深くおわび申し上げます。

(令和5年8月1日から令和6年7月31日までに お知らせのあった方のみ、掲載しております。)



頭印(◎常任理事 ○理事)				理事変更 (新理事を含む)				尾印(○新任 ×退任)							
期	頭	氏名	尾	期	頭	氏名	尾	期	頭	氏名	尾	期	頭	氏名	尾
高4	○	九十歩 勉	×	高7	○	久保田萬壽恵	×	高17	○	野崎 豊	×	高29	○	中須 美幸	×
高7	◎	森川 信和	×	高7	○	落合 芳雄	×	高17	◎	野崎 豊	○	高29	○	中野 節子	○
高7	○	森川 信和	○	高7	◎	落合 芳雄	○	高18	○	湯木 勉	×	高40	○	近藤 知広	○
高7	○	阿部 恵子	○	高9	○	北中 明美	×	高19	○	伊藤寿満子	×				
高7	○	高山 信子	×	高17	◎	白倉 一成	×	高19	○	川本恵美子	○				
高7	○	熊野ムツ子	○	高17	○	白倉 一成	○	高21	○	宝田智恵子	○				

同窓会事務局

- ☆業務時間 月曜日~金曜日 10:00~15:00 (祝日、春・夏・冬長期休業日、入試期間除く)
- ☆予告なく休業する場合があります。来局の際には事前にご確認ください。
- ☆同期会や会合のサポートも承ります。
- ☆HP新着情報欄への記事掲載も承ります。事務局までご相談ください。

次号『会報44号』は
2のつく期の担当です。

第1回会報会議
2024年11月3日(日)
13:00~(予定)

「2のつく期」の
理事・有志の皆さまへ

次号『会報44号』の発行に向けて、原稿執筆者や広告出稿者を各期に募ってまいります。ご検討・ご協力をよろしく願います。

事務局のあゆみ

令和5年(2023年)

9・1 会報42号発行
10 本部役員会④
総会担当理事会③(総会担当:9のつく期)

11・5 本部役員会⑤
総会担当理事会④

12・10 本部役員会⑥
号担当:1のつく期
総会担当理事会①(会報43)

令和6年(2024年)

1・9 会計残高確認
会計監査

1・14 本部役員会⑦決算最終確認
総会担当理事会⑥

2・5 令和6年常任理事会
常任理事会議事録を常任理事
事理事全員へ送付

25 11 総会担当理事会⑦
第65回総会・懇親会
ホテルグランヴィア広島
(担当:9のつく期)

3・13 同窓会入会式
卒業記念名簿(No.38)発行
卒業式

4・21 本部役員会⑧
総会担当理事会⑧会計報告
・引き継ぎ(9のつく期と
0のつく期)

5・26 総会担当理事会②
会報担当理事会(任意)
会報43号原稿締め切り

6・1 本部役員会②
会報担当理事会③

7・21 本部役員会③
会報発送同作業日
会報43号発行
同窓会ホームページ情報欄
会報43号に更新

8・25 会報43号発行
同窓会ホームページ情報欄
会報43号に更新

9・1 同窓会ホームページ情報欄
会報43号に更新

◆ご寄付 令和6年3月12日
高9期 木村トシ子様 金一封

2023年(令和5年) 海田高校同窓会収支決算書(1月~12月)
収入の部: 入会金・終身会費 3,808,000, 雑収入 5,000, 収入合計 3,813,000, 前年繰越金 2,963,079, 計 6,776,079
支出の部: 事務通信費 500,000, 通函費 650,000, 会議費 100,000, 水道光熱費 480,000, 人件費 1,800,000, 慶弔費 60,000, 記念品費 133,930, 卒業記念名簿 190,000, 接合費 50,000, 総会報費 150,000, 学校援助費 200,000, 会員データ整備費 200,000, 会館維持管理費 200,000, 子備費 2,062,149, 支出合計 6,776,079, 次年繰越金 2,906,101, 計 6,776,079

□□特別会計()は出納詳細
*総会費積立 7,340,649円 (総会活動支援金 229,500円) *会員データ整備費積立 4,758,686円
*報費積立 7,165,343円 (会報42号補填 139,184円) *奨学金返済口座 944,813円
*会館維持管理費積立 13,427,268円 (紙折衝の修理 23,100円)
*学校援助積立 3,725,018円 (定時制記念碑、考える人像等の移設費 385,000円)
*特別事業準備金 20,188,841円 (創立80周年演劇部記念公演費 255,105円)

□□会計監査報告 上記の通り相違ないことを認めます。 2024年 1月 14日

会計監査 高校24期 野谷典和
高校24期 西川裕子

2024年(令和6年) 海田高校同窓会収支予算

収入の部: 入会金・終身会費 4,641,000, 雑収入 5,000, 収入合計 4,139,194, 前年繰越金 2,906,101, 計 7,102,273
支出の部: 事務通信費 436,983, 通函費 553,679, 会議費 96,826, 水道光熱費 404,669, 人件費 1,529,090, 慶弔費 54,000, 記念品費 133,930, 卒業記念名簿 236,995, 総会報費 0, 学校援助費 150,000, 学校援助費 200,000, 会員データ整備費 200,000, 会館維持管理費 200,000, 子備費 2,080,111, 支出合計 4,196,172, 次年繰越金 2,906,101, 計 7,102,273

前号「会報42号」収支決算報告 担当:0のつく期

[収入の部] 令和5年会報予算 150,000, 広告収入 285,000, 常任・理事調整 8,445, 合計 443,445
[支出の部] 印刷費(6000部) 277,200, 郵送料 173,870, 会報:0のつく期 129,276, 振込手数料 2,283, 合計 582,629
差額 -139,184円 特別会計「会報積立」より補填

海田高校家政科
郷土料理を広めたい!
郷土料理を残したい!
(株)ますやみそと家政科が共同開発した「ごま鯛みそ」海田町の郷土料理「さつま」から生まれました。海田町周辺スパーや「ひろしま夢プラザ」で販売中。

同窓会一般会員の皆さまへ
海田高校同窓会の会報は年刊誌です。郵送する対象者は毎年違います。初回は卒業年、その後は10年に1度の輪番制で編集を担当し、その会報を送付します。
会報をお届けした封筒の宛名シールで同窓会に登録中の住所・姓名や卒期・個人会員番号が確認できます。会報の発送は、会員データの整備も兼ねています。登録内容の確認、変更や再登録は事務局までお気軽にご連絡ください。

再登録は事務局までお気軽にご連絡ください。
編集を担当する期以外の方からの寄稿もお待ちしております。「ひろば・輝く同窓生」「各期だより」の枠で掲載いたします。
自薦他薦を問いません。会報の印刷費や郵送料の多くを広告収入で賄っています。広告のご協力を切にお願い申し上げます。各詳細のお問い合わせは事務局までお願いします。

創部70年を迎えた野球部

海田高校野球部は、1954(昭和29)年に創部し70年の歴史を刻んでまいりました。平成11年第81回全国高校野球選手権広島大会、平成16年秋季広島県高等学校野球大会でのベスト4が最高成績である。

現在(令和6年5月1日)の野球部の状況をお知らせします。選手は、3年生が15人、2年生が18人、1年生が17人、女子マネージャーが6人の計56人での部活動となっている。グラウンドをサッカー部と陸上部として野球部の3つの部で互いに譲り合いながら共有して練習している。月曜日は、学校指定の部活休養日。朝練習は毎日45分行っている。放課後練習は、火曜日は「トレーニング日」として専門トレーナーの指導の下、基礎体力の強化や敏捷性向上などに努めている。水曜日から金曜日までが技術練習、土曜日・日曜日・祝日は広島県内や中国地方だけでなく

四国や九州などの学校と練習試合を年間約150試合程度行っている。

令和6年3月の卒業生は、部訓である『文武両道』をしつかりと実践してくれた選手22人は、九州工業大学や愛媛大学などの国立大学へ8人、公立大学は4人が合格し進学を果たした。



昨年は学校創立80周年の記念事業の一環として招待試合を11月に行った。甲子園大会出場経験がある鳥取県立米子東高等学校(24回

出場)と長崎県立大崎高等学校(1回出場)を招き、試合は2試合とも接戦で敗れましたが、大変学び



の多い試合となり、冬期の練習に活かすことができました。本年度は愛媛県立松山商業や滋賀県近江高等学校などの招待試合を実施する予定です。

今年の4月から行われた春季広島県大会においては、「投手を中心とした接戦を勝ち抜く」というテーマのもと、粘り強く戦い続けてくれた。初戦の大竹高校は2対0、市立呉高校には2対1と勝利し、21年ぶりの夏の選手権大会のシード権獲得となった。準々決勝の国泰寺高校に4対0で勝利し、中国大会へ初出場(6月1日から開催され3位)を決めた。準決勝の崇徳高校には3対2と接戦で勝利

し創部以来初の決勝進出を果たした。決勝の相手は広陵高校。最後に2点を返すが力及ばず2対8で敗れ準優勝という結果であった。

海田高校に復帰して5年目、少しずつ選手の力が向上し、結果に繋がりが、多くのOBの方や地域の方々が喜んでくれていることが私も選手たちも励みになっております。これからも、選手と共に成長しあい、皆さんに応援してもらえらるチームとなっていけるように頑張っていきたいと思います。

応援よろしくお願ひいたします。

(監督 平崎直樹 高36期)

西日本ベースボールフェスタ 高校野球招待試合

令和6年11月16日(土) 17日(日)
【雨天中止 入場無料】

愛媛県立松山商業高等学校	甲子園出場(春16回 夏26回 全国制覇は春2回夏5回で計7回)
長崎県立大崎高等学校	甲子園出場(春1回) 神宮大会出場(1回)
島根県立浜田高等学校	甲子園出場(春4回 夏12回)
滋賀県近江高等学校	甲子園出場(春6回 夏17回)
広島県新庄高等学校	甲子園出場(春3回 夏3回)など

会場・組合せは10月中旬に海田高校HP掲載予定

弾力発想。

西川ゴム工業株式会社 代表取締役社長 小川 秀樹 (31期)

〒733-8510 広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号 TEL:082-237-9371 URL:<https://www.nishikawa-rbr.co.jp/> (企業ウェブサイト)
<https://nishikawarbr-recruit.com/> (採用ウェブサイト)